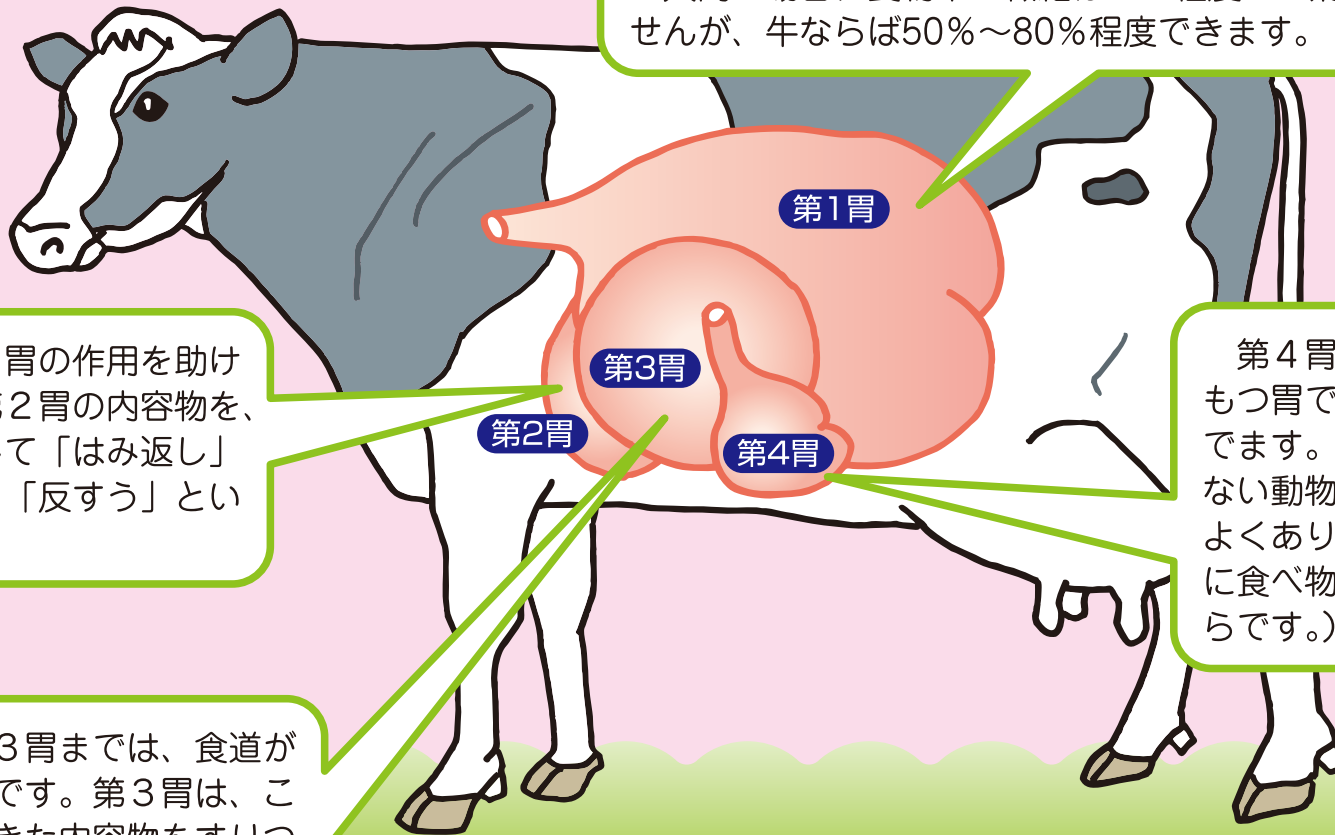


びっくり牛の胃袋

第1胃の大きさは、成牛だと120リットルもあります。第1胃には微生物が住んでいて草などを発酵・分解し、栄養素として利用できる形に変える大切な胃です。

人間の場合、食物中の繊維は5%程度しか消化できませんが、牛ならば50%~80%程度できます。



第2胃は、第1胃の作用を助けます。第1胃・第2胃の内容物を、牛は時々口へ戻して「はみ返し」をします。これを「反すう」といいます。

第4胃は、人と同じはたらきをもつ胃で、ここで初めて消化液がでます。しかし、胃がひとつしかない動物に比べると消化作用はつよくありません。(ここへ来るまでに食べ物は十分分解されているからです。)

第1から第3胃までは、食道が変化したものです。第3胃は、ここへ運ばれてきた内容物をすりつぶしているような構造になっています。